セ

企業情報他

経営成績·財務分析(2021年度)

経営成績に関する分析

業績概況

雪印メグミルクグループは「グループ中期経営計画 2022」に基づき、「4つの事業分野(乳製品事業分野、市乳事業分野、ニュートリション事業分野、飼料・種苗事業分野)における収益基盤の確立」に向けた取組みを進めました。この中では、機能性を軸としたヨーグルトおよびチーズなどの主力商品の戦略的拡大とプロダクトミックスの更なる改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模拡大と収益獲得の両立、飼料・種苗事業分野における戦略的拡大と収益基盤の整備、ならびにグループ経営資源の活用拡大やバリューチェーンの生産性向上によるグループ総合力の強化などに努めました。

以上の結果、当連結会計年度の連結経営成績につきましては、売上高5,584億円、営業利益180億円(前年同期比8.7%減)、経常利益199億円(前年同期比7.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、120億円(前年同期比19.1%減)となりました。

売上高

① 乳製品セグメント (乳製品事業分野+ニュートリション事業分野)

バターは引き続き安定供給に努めたことから前年を上回りました。油脂は新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による内食需要の落ち込みや価格

セグメント別売上高・営業利益

			(単位:億円)
	2020年度	2021年度	増減
売上高	5,545	5,584	38
乳製品	2,306	2,369	62
飲料・デザート	2,486	2,397	△ 89
飼料·種苗	410	468	58
その他	341	348	7
〈参考〉乳製品のうちニュート!	ノション事業分野(の売上高	
ニュートリション	167	177	9
営業利益	197	180	△ 17
乳製品	136	125	△ 11
飲料・デザート	41	36	△ 5
飼料·種苗	11	6	△ 4
その他	10	11	0

[※]表中の数値は「収益認識に関する会計基準」などを2020年度においても適用したと仮定し、作成しております。

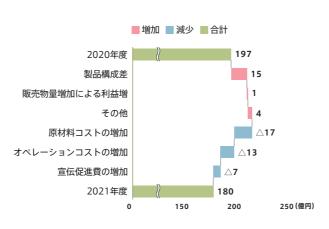
改定を進めたことなどにより前年を下回りました。 チーズは、「さけるチーズ」は好調に推移しましたが、プロセスチーズが新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による内食需要の落ち込みにより減少し、前年を下回りました。機能性食品は定期購入型通販ビジネスが引き続き好調に推移したこと、積極的なマーケティング投資や健康志向の高まりにより引き続き伸長しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,369億円となりました。

② 飲料・デザート類セグメント(市乳事業分野)

飲料は、飲料タイプとしては日本初の「骨密度を高 める」機能性表示食品となる「MBPドリンク」などの 新商品が売上増加に貢献したものの、飲料全体では 夏場の気温低下・長雨の影響による需要期の販売物 量の低下や新型コロナウイルス感染症拡大の長期化 による内食需要の落ち込みにより、前年を下回りまし た。2022年3月末に「おいしい雪印メグミルク牛乳」 をリニューアル発売し、更なる売上拡大を目指しま す。ヨーグルトは、上期に増量キャンペーンを実施し たプレーンヨーグルトやハードヨーグルトが前年を上 回ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の長 期化による内食需要の落ち込みや機能性ヨーグルト 市場の伸長が鈍化したことなどにより、全体では前 年を下回りました。デザートは新商品の発売など、商 品力強化の取組みに加え、既存商品の拡売により好 調に推移しました。

営業利益の増減要因



これらの結果、当セグメントの売上高は2,397億円となりました。

③ 飼料・種苗セグメント

配合飼料販売価格の上昇などにより当セグメント全体で前年を上回り、売上高は468億円となりました。

以上の結果に、共同配送センター事業、不動産賃 貸事業などのその他セグメントの売上高348億円を 加えた結果、売上高は5.584億円となりました。

※前年との比較コメントにつきましては、「収益認識に関する会計基準」 (企業会計基準第29号 2020年3月31日)を適用したと仮定して算定した数値に 基づき記載をしております。

営業利益

原材料コストの増加や、工場のエネルギー費用のようなオペレーションコストの増加などにより、営業利益は180億円(前年同期比8.7%減)となりました。

財政状態に関する分析

資産

2021年度末の総資産は2020年度末と比較して32億円増加し、4,018億円となりました。これは主に磯分内工場のバター新棟が完成したことによる固定資産の増加や、投資有価証券の評価額が時価の上昇に伴い増加したことなどによるものです。

負債および純資産

2021年度末の負債は2020年度末と比較して80億円減少し、1,923億円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が減少したことなどによるものです。

純資産は112億円増加し、2,095億円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

キャッシュ・フロー分析

営業活動によるキャッシュ・フロー

294億円の収入となりました。2020年度と比較して28億円増加しました。税金等調整前当期純利益は減少しましたが、未収入金の増減額などの差により、営業キャッシュ・フローは増加しました。

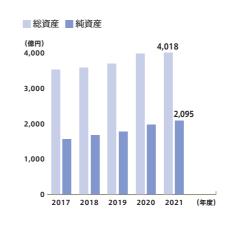
投資活動によるキャッシュ・フロー

202億円の支出となりました。支出額は2020年度と比較して68億円減少しました。2020年度には磯分内工場のバター新棟関連の支出が多くあったことなどが主な要因です。

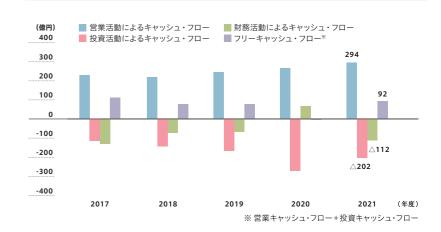
財務活動によるキャッシュ・フロー

112億円の支出となりました。主に長期借入金の返済によるものです。

総資産·純資産



キャッシュ・フロー



結財務諸表

連結貸借対照表

		(単位:百万円
	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,840	19,991
受取手形及び売掛金	71,710	72,248
契約資産	_	49
商品及び製品	43,881	47,408
仕掛品	1,114	890
原材料及び貯蔵品	14,931	13,851
未収入金	6,957	3,836
その他	1,657	2,172
貸倒引当金	△ 377	△ 309
流動資産合計	161,716	160,139
固定資産		
回 足員座 有形固定資産		
建物及び構築物	55,547	55,113
機械装置及び運搬具	60,434	58,973
域域表置及び建設 工具、器具及び備品	4,309	4,094
土地	47,774	49,426
リース資産	4,230	3,868
建設仮勘定 有形固定資産合計	4,981	7,416
行心凹た貝炷口司	177,277	178,892
無形固定資産		
リース資産	184	172
ソフトウエア	1,859	1,781
施設利用権	608	543
のれん	645	582
その他	215	213
無形固定資産合計	3,512	3,291
	-,,,,,	<u> </u>
投資その他の資産	,,,,,,	
投資その他の資産 投資有価証券	44,517	48,107
投資有価証券	44,517	224
投資有価証券 長期前払費用	44,517 277	224 4,152
投資有価証券 長期前払費用 退職給付に係る資産	44,517 277 4,024	224 4,152 2,936
投資有価証券 長期前払費用 退職給付に係る資産 繰延税金資産	44,517 277 4,024 3,092	224 4,152 2,936 4,337
投資有価証券 長期前払費用 退職給付に係る資産 繰延税金資産 その他	44,517 277 4,024 3,092 4,466	224 4,152 2,936 4,337 △ 193
投資有価証券 長期前払費用 退職給付に係る資産 繰延税金資産 その他 貸倒引当金	44,517 277 4,024 3,092 4,466 △ 234	48,107 224 4,152 2,936 4,337 △ 193 59,566

		(単位:百万円
	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,002	53,447
電子記録債務	4,784	5,277
短期借入金	16,409	17,011
1年内返済予定の長期借入金	15,623	958
リース債務	793	830
未払金	12,334	7,569
未払法人税等	3,521	2,227
未払費用	8,019	2,947
契約負債	-	466
預り金	633	686
賞与引当金	5,293	4,876
その他	6,144	16,835
流動負債合計	128,558	113,134
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	32,046	39,378
長期預り金	5,018	5,014
リース債務	4,502	4,051
繰延税金負債	5,149	6,607
再評価に係る繰延税金負債	3,815	3,815
役員退職慰労引当金	20	14
ギフト券引換引当金	68	-
退職給付に係る負債	9,570	8,826
資産除去債務	1,331	1,250
その他	312	260
固定負債合計	71,835	79,220
負債合計	200,394	192,36
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,607	17,02
利益剰余金	137,941	147,23
自己株式	△ 5,355	△ 5,347
株主資本合計	170,192	178,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,952	18,976
繰延ヘッジ損益	△ 3	90
土地再評価差額金	8,570	8,57
為替換算調整勘定	△ 48	326
退職給付に係る調整累計額	△ 449	△ 99
その他の包括利益累計額合計	25,020	27,860
非支配株主持分	3,042	2,750
純資産合計	198,255	209,528
負債純資産合計	398,650	401,890

連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	615,186	558,403
売上原価	472,574	468,961
売上総利益	142,612	89,441
販売費及び一般管理費		
販売費	104,499	53,245
一般管理費	18,331	18,136
販売費及び一般管理費合計	122,831	71,382
営業利益	19,780	18,059
営業外収益		
受取利息	7	3
受取配当金	737	765
持分法による投資利益	1,233	1,015
その他	1,045	1,203
営業外収益合計	3,024	2,987
営業外費用		
支払利息	410	388
寄付金	54	141
特殊ミルク供給事業費用	52	120
その他	625	409
営業外費用合計	1,142	1,060
経常利益	21,662	19,987
特別利益		
固定資産売却益	2,678	3
投資有価証券売却益	18	2
その他	455	0
特別利益合計	3,152	6
特別損失		
固定資産売却損	477	28
固定資産除却損	1,486	1,865
減損損失	1,282	350
投資有価証券評価損	38	524
その他	374	0
特別損失合計	3,659	2,768
税金等調整前当期純利益	21,156	17,226
法人税、住民税及び事業税	5,589	4,487
法人税等調整額	588	511
法人税等合計	6,177	4,998
当期純利益	14,978	12,227
非支配株主に帰属する当期純利益		159
親会社株主に帰属する当期純利益	14,913	12,068

連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	14,978	12,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,084	2,146
繰延ヘッジ損益	84	94
為替換算調整勘定	80	411
退職給付に係る調整額	1,869	328
持分法適用会社に対する持分相当額	167	△ 87
その他の包括利益合計	8,286	2,893
包括利益	23,265	15,120
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	23,202	14,912
非支配株主に係る包括利益	62	208

連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	21,156	17,226
減価償却費	15,917	16,957
減損損失	1,282	350
持分法による投資損益(△は益)	△ 1,233	△ 1,015
のれん償却額	89	100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 53	△ 109
賞与引当金の増減額(△は減少)	80	△ 419
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△ 582	△ 751
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,062	344
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△ 10	_
固定資産除売却損益(△は益)	△ 714	1,889
受取利息及び受取配当金	△ 745	△ 769
支払利息	410	388
未収入金の増減額(△は増加)	△ 3,145	3,121
売上債権の増減額(△は増加)	△ 137	△ 479
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 939	△ 2,080
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 231	△ 1,125
その他	△ 548	828
小計	31,656	34,455
利息及び配当金の受取額	1,101	1,125
利息の支払額	△ 393	△ 391
法人税等の支払額	△ 5,796	△ 5,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,567	29,421

定期預金の預入による支出 △ 10 − に期預金の払戻による収入 12 − 貸付けによる支出 △ 295 △ 3 貸付金の回収による収入 159 72 有形及び無形固定資産の取得による支出 △ 31,122 △ 19,971 有形及び無形固定資産の売却による収入 4,171 17 投資有価証券の取得による支出 △ 17 △ 423 投資有価証券の売却による収入 67 27 その他 △ 40 75	投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出 △ 295 △ 3 貸付金の回収による収入 159 72 有形及び無形固定資産の取得による支出 △ 31,122 △ 19,971 有形及び無形固定資産の売却による収入 4,171 17 投資有価証券の取得による支出 △ 17 △ 423 投資有価証券の売却による収入 67 27 その他 △ 40 75	定期預金の預入による支出	△ 10	_
貸付金の回収による収入 159 72 有形及び無形固定資産の取得による支出 △ 31,122 △ 19,971 有形及び無形固定資産の売却による収入 4,171 17 投資有価証券の取得による支出 △ 17 △ 423 投資有価証券の売却による収入 67 27 その他 △ 40 75	定期預金の払戻による収入	12	_
有形及び無形固定資産の取得による支出 △ 31,122 △ 19,971 有形及び無形固定資産の売却による収入 4,171 17 投資有価証券の取得による支出 △ 17 △ 423 投資有価証券の売却による収入 67 27 その他 △ 40 75	貸付けによる支出	△ 295	△3
有形及び無形固定資産の売却による収入 4,171 17 投資有価証券の取得による支出 △ 17 △ 423 投資有価証券の売却による収入 67 27 その他 △ 40 75	貸付金の回収による収入	159	72
投資有価証券の取得による支出 △ 17 △ 423 投資有価証券の売却による収入 67 27 その他 △ 40 75	有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 31,122	△ 19,971
投資有価証券の売却による収入 67 27 その他 △ 40 75	有形及び無形固定資産の売却による収入	4,171	17
その他 △ 40 75	投資有価証券の取得による支出	△ 17	△ 423
	投資有価証券の売却による収入	67	27
投資活動によるキャッシュ・フロー △ 27,076 △ 20,206	その他	△ 40	75
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 27,076	△ 20,206

財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 105	602	
長期借入れによる収入	12,540	8,290	
長期借入金の返済による支出	△ 1,626	△ 15,623	
自己株式の取得による支出	△ 394	△ 5	
配当金の支払額	△ 2,705	△ 2,705	
非支配株主への配当金の支払額	△ 2	△ 2	
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	_	△ 1,076	
その他	△ 933	△ 741	
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,771	△ 11,262	
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	197	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,305	△ 1,849	
現金及び現金同等物の期首残高	15,524	21,829	
現金及び現金同等物の期末残高	21,829	19,979	

セ

ス

74

社・投資家情報(2022年3月31日現在)

雪印メグミルク 会社概要

雪印メグミルク株式会社 商号

MEGMILK SNOW BRAND Co., Ltd.

牛乳、乳製品および 事業内容 食品の製造・販売など

本店所在地 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号

本社所在地 東京都新宿区四谷本塩町5番1号

設立年月日 2009年10月1日 資本金 200億円 決算期 3月31日

従業員数 5,665名(連結)

上場取引所 東京・札幌の各証券取引所 証券コード 2270

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社



社外からの評価

格付投資情報センター (R&I)

(発行体格付 2021 年 9 月発表)

Α-

プラチナくるみん

雪印メグミルク は、次世代育成支 援対策推進法に

基づき、優良な「子育てサポート 企業」として厚生労働大臣の認 定を受けています。

SOMPO サステナビリティ・ インデックス

2022

Sompo Sustainability Index

SOMPOアセットマネ

ジメント株式会社による、ESG(環境、社会、 ガバナンス) 投資のための指標です。雪印メ グミルクは運用当初(2012年)より11年間、 継続して構成銘柄に選定されています。

IR活動の実績

			(年度)
	2019	2020	2021
投資家・アナリスト向け決算説明会	2	4	4
スモールミーティング	11	8	7
 うち社長出席	2	2	1
個別ミーティング	96	62	55
個人投資家説明会	6	0	0

株主還元



IRカレンダー



株式の状況

修行可能株式総数	280,000,000 株
終行済株式の総数	70,751,855 株
主数	44,089 名

株式の分布状況



(注1)株式数は、千株未満を切り捨て表示しています。 (注2)雪印メグミルクは、自己株式3,063,875株を保有していますが、 上記からは控除して計算しています。

大株主(上位10位)

株主氏名·名称	持株数(千株)	出資比率(%)
全国農業協同組合連合会	9,237	13.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,042	10.40
農林中央金庫	6,728	9.93
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・伊藤忠商事株式会社退職給付信託口)	3,703	5.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,146	4.64
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,977	2.92
雪印メグミルク従業員持株会	1,229	1.81
株式会社三菱UFJ銀行	1,083	1.60
ホクレン農業協同組合連合会	1,074	1.58
全国酪農業協同組合連合会	1,008	1.48

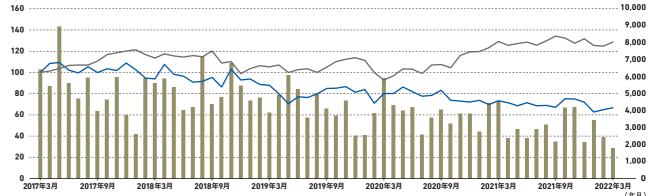
(注1) 株式数は、千株未満を切り捨て表示しています。

(注2) 雪印メグミルクは、自己株式3,063,875株を保有していますが、上記からは控除して計算しています。

— 雪印メグミルク株価(左軸) ─ TOPIX(左軸) ■雪印メグミルク出来高(右軸)

株価および出来高の推移

雪印メグミルク株価 雪印メグミルク出来高(千株)



(注) 株価、TOPIXは、2017年3月末を100としたときの推移(月間終値ベース)

雪印メグミルク 事業所一覧



雪印メグミルクグループ 海外拠点



情報開示体系

財務関連情報

統合報告書

雪印メグミルクレポート2022(統合報告書)

雪印メグミルクグループの主要情報を集約し、 持続的成長に向けた価値創造ストーリーをお伝えします。



Web サイト

非財務関連情報

サステナビリティ

- ●トップメッセージ
- ●サステナビリティ推進体制
- ●重要課題(マテリアリティ)
- ●ESGデータ集

編集方針

雪印メグミルクグループは、株主・投資家を含む幅広い読 者の皆様に、雪印メグミルクグループの中長期における持続 的な成長に向けた考え方や取組みをお伝えし、ご理解いた だくことを目的に、「雪印メグミルクレポート」を発行してい ます。なお、本レポートに掲載しきれなかった項目を含め、最 新の財務・非財務関連情報については、雪印メグミルク Webサイトにて紹介しています。

1. 社外の声を反映して制作しました

企業倫理委員会からの意見・要望を反映しました。

2. 経営職の表記について

雪印メグミルクでは、管理職を経営職と呼称しています。 本レポートでは、表記を経営職に統一しています。

おことわり

本レポートに記載されている業績予想などの将来に関する記述 は、現時点で入手可能な情報に基づき、雪印メグミルクグループ が判断した見通しであり、その達成を雪印メグミルクグループと して約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績など は、業況の変化などにより、本レポートの予想数値と異なる場合 があります。

報告対象期間

2021年度(2021年4月1日~2022年3月31日) ただし、必要に応じてその他期間の内容も一部掲載しています。

本レポートに記載した情報は、雪印メグミルクグループ(雪印メ グミルクおよびそのグループ会社)を対象としています。ただ し、対象企業すべての情報を網羅しているわけではありません。

参考にしたガイドライン

- 国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
- GRIスタンダード
- ISO26000「社会的責任に関する手引」
- 経済産業省「価値協創のための総合的開示・対話ガイダンス」

発行時期

今回の発行:2022年9月

次回の発行:2023年秋(予定)(本レポートは、年次版として毎年発行します)

お問い合わせ先

雪印メグミルク株式会社 サステナビリティ推進部 東京都新宿区四谷本塩町5番1号 Tel: 03-3226-2064 Fax: 03-3226-2163